

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	1	枝番	2
評価担当課	企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄市の統計の作成			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	1	市民主体のまちづくりの推進
		基本事業	2	広報・広聴活動の充実と情報公開
		実施計画事業	3	情報公開の充実と個人情報保護制度の適正運用

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	人口、経済、産業、社会、教育、文化等あらゆる分野にわたり、市の現況と発展の推移をあきらかにする基本的な資料を公開する。			
対象(何を又は誰を)	市民、事業者、市の機関及び関係機関等			
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	国や各官公庁が作成した統計調査結果報告、庁内各課及び関係機関から収集した統計資料を年版の「統計書」として収録、発行する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	市勢の現況と推移を明らかにし、今後の社会経済を社会経済を展望する行政資料として、市民・事業者等の調査、研究に寄与する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助等 <input type="radio"/> 請負 <input type="radio"/> その他()			
事業実施期間	始期	H18 年度	終期設定	有 (終期 年度) <input checked="" type="radio"/> 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H22	H23	H24	H25見込	
活動指標	1 統計書掲載項目	目標	142		143		
		実績	142		143		
	2 統計書作成数	目標	150		150		
		実績	150		150		
	3	目標					
		実績					
成果指標	1 統計書利用数	目標	150		150		
		実績	150				
	2	目標					
		実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費	19	0	19	0	<<歳出>> 用紙代 18,600円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	19		19		
人件費	661	0	663	0	
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	
担当職員数	0.10		0.10		
総事業費	680	0	682	0	
対前年比(%)	—	—	—	—	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	4.8		4.8	総事業費/統計書掲載項目
	活動指標2	4.5		4.5	総事業費/統計書作成数
	活動指標3				

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	市民等の統計書利用が紙面からホームページと移行しつつあると思われる。
改善点	指摘事項 有 () 無 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。 市政の推進上、政策形成に関する事務事業である。 隔年の発行ではあるが、統計の果たす役割として重要性がある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	市の現況と発展の推移を明らかにした基礎資料公開方法としては、有効。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	市ホームページや情報公開コーナーなどを活用した情報発信を行っており、冊子も庁内印刷であり、コスト削減に努めている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	統計書は無料で提供しているが、庁内印刷でコストをかけずに最小限作成しており、市ホームページでご覧いただけるようにしている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	市民、事業者等の調査、研究に必要とされている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	掲載の見直しを行うなど、利活用について検討の必要があるが、冊子の規格、発行部数は現状で適正と判断する。市民、事業者に対して、市の現況と発展の推移を公表する、行政施策を企画、立案する際の客観的な指標として役立てる、市民事業者等の調査研究に寄与する点から、今後必要とされる事業であると考えられるため、より見やすく、分かりやすい構成とすること、より必要とされるデータの掲載につとめていく。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	今後においても必要とされる事業であり、さらなる充実に努めていく必要がある。